

## 重度知的障害者 訓練施設が完成

富岡

富岡市の社会福祉法人「上州水土舎」(金谷透理 理事長)が同市後覆で建設し



完成した重度知的障害者  
生活訓練施設(30日)

ていた重度知的障害者生活訓練施設「自立生活サポートセンター・ムゲン」が完成し、30日、記念式典が行われた。7月1日から運営を開始する。

同施設は、木造2階建て延べ床面積約360平方メートル。社会福祉士や臨床心理士らが常勤し、重度知的障害者が通所で訓練できるという。

水土舎は、同じ敷地内で、中・軽度知的障害者約30人が通う授産施設をすでに運営しており、式典で金谷理事長は「新施設を知的障害者の福祉に役立てたい」などとあいさつした。

ムゲンの建設を巡っては、国への補助金申請にあたり昨年6月、申請条件から撤廃されていた「地域住民の同意書」の提出を、関東信越厚生局が県を通じて指示するトラブルがあった。指示撤回まで約3か月かかり、その分、開所時期がずれ込んだ。